
ワールドエンド

雪芳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ワールドエンド

【Nコード】

N8752K

【作者名】

雪芳

【あらすじ】

世界は終わった。家族は死に、仲間たちも死んだ。地下に隠れ住み生き残った男は、最期の時を地上で迎えることを選ぶ。

とうに非常食も水も底についていた。空腹と口渇は限界を振り切り、体軀が思うように動かないという錆びた感覚だけがあった。

今、仲間たちの亡骸の傍らで独り、男は意識を手放そうとしている。

何故こんなことになってしまったのだろうか。矮小な男の頭では、その理由は判らなかつた。ただ唐突に、生まれ親しみ永遠に続くかと思われた世界は終わりを告げたのだ。

そして彼もまた、唯一生き残った者として、最後を迎えようとしている。

ふいに昔のことを思い出した。

彼の家族は多かつた。仲間たちも多かつた。皆で世話しなく働き、助け合い生きた。時には強靱な巨人たちと身一つで戦い、逃げては子孫を育んだ。厳しい世界ではあつたがささやかな生活を愛し懸命に生きた。

そしてある日、不条理に終わりはやってきた。強靱な巨人たちをやつと撃退し、勝利にわきたつたあの日。世界は燃えた。

火の玉が降り注ぎ、大地は揺れ、水が噴き出した。

安全な地下へと避難し、やがて来る平穏を待ったが、それは来なかつた。地球は生命には過酷な場所へと変貌してしまつたのだ。順応や進化というものは世代を重ねて少しずつ行われるものだ。生きる術など、どこにあるう。彼は死ぬのだ。

だが死を目前として彼の心は、混沌になく静寂にあつた。ようやく皆と同じになれる。一緒になれる。そう思えば死に恐怖の色は一片もなく、寧ろ幸福にすら感じられるのだつた。

薄らぐ脳が柔らかな喜びを感受する中で、男はゆっくりと体軀を動かした。

せめて最期に、地上へ。

死んだ者たちが求めてやまなかつた地上への歩み。渴望が瘦せた魂に僅かな力を与える。地上へのなだらかな道を行き、湿った暗がりや背にし、男はついに天を仰いだ。

埃っぽ空気が、赤く膿んだような大地。暗雲に塞がれた空。居るだけで痺れる。危険信号を放ち、拒絶する。が、逃げはしない。

地上で死ぬのだ。男は最期の力を振り絞り、触覚を揺らした。

最後の生命体『昆虫綱、ゴキブリ目ワモンゴキブリ』として。

黒々とした殻に包まれた筋肉は麻痺しつつある。地球で最も強いとされた生命力は消えつつある。

かつて彼の最強の敵だった巨人。奴等は巨大な物質で彼を原始的に潰そうとしたり、時には甘美な芳香を放つ穴ぐら。ただし入った者は二度と出てこなかった。という罠や毒ガスを出す塔を置くといった卑怯な攻撃もあった。

今はあの宿敵はいない。新たな敵は、母なる地球。

なんと残酷な世界か。なんと無慈悲な世界か。こんな世界は、終わってしまう方が正しい。

男は力を抜いた。少しずつ近づいてくる死という安寧、死という楽園。その時を全身で受け入れるために。

いま、肉と殻の呪縛がほどけ、天の国へと、ゆっくり浮上する。

瞬間、男は驚愕した。

気付くと透明な壁に四方を囲まれていた。そして清浄な空気の中に浮かびながら、見下ろしていたのだ。かつての宿敵を。

男は怯えた。まさか巨人たちが戻ってくるとは。殺される。天寿を全うすることなく殺されてしまうのだ。

瞬く間に絶望に侵食された彼であったが、不思議なことに巨人たちはいつまでたっても襲ってこなかった。そればかりか、彼を慎重に扱う。以前ならば悲鳴をあげて彼を殺しにかかったであろう巨人たちは、宝物のように彼を両手で包み、運んだ。大事に動かし、そっと大きな箱へと移す。

彼はすつと床に降ろされた。すくんでいた彼であつたが、降ろされた場所で周囲を見渡すと、緊張をみるみるうちに弛ませた。そこに懐かしい顔を見つけたからだつた。僅かだが、生き残っていたのは自分だけではなかつたのだ。

途端に、本当の喜びが溢れ出る。生への歡喜が蘇る。

生きてやろう、きつと生きてやろう。熱く心を燃やして。きつと再び、繁栄してみせると誓つて。

男はひとまず床に転がつた食料を口にすると、仲間の一人にまたがった。

(後書き)

シユールな小話を書きたかったのです。数が減れば大切にしようが我々の常よねということ。

少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

また、感想を下さいますと、もっとやる気をだすと思います。本当に。本当に。

最後まで読んでくださりありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8752k/>

ワールドエンド

2010年10月11日18時57分発行